

行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 4 -

日常生活の安心・安全を高める

目指す姿

- 犯罪、消費者被害¹、交通事故が減少しており、住民同士が気軽に挨拶を交わし合い、和やかな雰囲気の中で、安心して穏やかに日常生活を送っています。

1 消費者が事業者と契約をするとき、両者の持っている情報の質・量や交渉力に格差があることを利用して、消費者に対し一方的に不利な契約や取引がなされること。

成果指標の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
刑法犯認知件数 ¹	1,227 件	1,477 件				↘
消費生活出前講座 ² 等の参加 者数	884 人	1,417 件				1,000 人
交通事故死亡者数	4 人	3 人				↘

1 窃盗、暴行、傷害、詐欺等の犯罪の発生を警察が認知した件数のこと。

2 悪質商法や買い物トラブルの最新情報と対処法について、地域等に出向き説明する講座のこと。

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・平塚市防犯協会等の関係団体と連携し、防犯キャンペーン、闇バイト対策講話及び地域安全運動などの防犯活動を実施しました。また、平塚警察署との連携協定に基づき、大型商業施設への警報機付き自転車の設置を継続したほか、無施錠の自転車に施錠を促す新たな取組を開始しました。
- ・自治会が設置する防犯カメラへの補助を継続したほか、特殊詐欺被害を防止するための迷惑電話防止機能付き機器の購入費の一部を補助しました。また、防犯街路灯の新設・修繕を行うとともに、市が管理する防犯カメラを活用し、犯罪捜査のための画像を警察に提供しました。
- ・出前講座の開催、SNSの活用及び関係機関との連携により、消費者被害に関する注意喚起及び啓発活動を行いました。また、消費生活相談員が消費者トラブルに関する相談に対応しました。

- ・各種交通安全キャンペーンや交通安全教室を実施するとともに、ＳＮＳを活用した交通安全動画の配信などの啓発活動を行いました。また、市内各地域で児童・生徒の登校時に交通安全指導を実施しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・地域における犯罪を未然に防止する必要があります。
刑法犯認知件数の減少に向けて、平塚市防犯協会、平塚警察署等の関係団体と連携しながら、件数の多い自転車盗、手口が巧妙化する特殊詐欺や闇バイトへの対策を継続し、防犯キャンペーン等を通して市民の防犯意識の高揚と地域防犯力の向上を図ります。また、防犯街路灯の設置や維持管理、自治会等が設置する防犯カメラへの補助により、防犯設備の充実を図るとともに、市が管理する防犯カメラを活用し、警察機関等の犯罪捜査へ迅速に協力します。さらに、高齢者の特殊詐欺被害を防止するため、迷惑電話防止機能付き機器の購入費の一部を補助します。
- ・消費者被害を未然に防止するとともに、消費生活に関する意識の向上を図る必要があります。
社会経験の少ない若年層や悪質商法による被害が多い高齢者を対象とした消費者教育を継続するとともに、ＳＮＳを活用した効果的な情報提供を行います。また、環境や社会に配慮した消費を啓発するとともに、消費者トラブルの迅速な救済に向けて、消費生活相談員の資質の向上を図ります。
- ・市内で発生割合の高い高齢者や自転車利用者の交通事故を抑制する必要があります。
地域や警察などの関係機関と連携した交通安全キャンペーンや交通安全教室のほか、ＳＮＳを活用した啓発活動などにより、高齢者や自転車利用者に対する交通安全意識の向上を図ります。

関連事業

防犯対策・治安向上推進事業、防犯設備整備事業、安全で豊かな消費生活推進事業、交通安全推進事業

決算額

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
事業費（千円）	114,460			